

Office × 読み書き

普段、MicrosoftのOffice（Word・Excel・PowerPointなど）を使用している方も多いのではないのでしょうか。よく使うものだからこそ、少しでも楽ができる設定を知っていると便利です。Officeや一部アプリケーションの「読み書き」のサポートツールを紹介します。

Word 文書作成ソフト



言わずと知れた文書作成ソフトで、発話が明瞭な場合は口述入力機能（ホーム>ディクテーション）も使用可能です。Wordファイルで文書のやり取りをする場合は、見やすさの調整をすることも可能です。

- ・見やすさを調整する（表示>閲覧モード）
- ・読み上げをする

方法① イマーシブリーダーを使用する

※Office 365 サブスクリプションユーザーのみ

方法② Wordオンラインで使用可能

方法③ アドインソフトを利用する

「WordTalker（有料）」



WordTalker（イースト）

OneNote デジタルノートソフト



パソコンやスマートフォンから自在に使えるデジタルノートソフトです。

他のOfficeソフト（WordやExcel等）と違って、目的が合えば無償で使用できます。

口述入力機能（ホーム>ディクテーション）もあるので、発話が明瞭な場合は使用可能です。

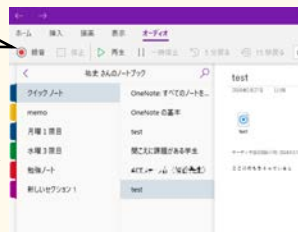
事例）授業を聞きながらノートを取ることが難しい場合、ICレコーダーを活用したい。一方ですべてを聞き直すことは時間的な制約もある。

①OneNoteの機能（オーディオ>録音）でノートを取りながら録音ができます。録音時間と入力時間が同期して保存されます。

②その他ノートアプリ（Notability(iOS), AudioNote(iOS)等）でもノートを取りながら録音ができます。

録音ボタン

ノートの
分類ができる



Office Lens 写真補正ソフト



iOS版 Office Lensでは、「イマーシブリーダー」機能で、撮影した画像からテキストを抽出し、その場で読み上げさせることもできます。

事例）iPad（iOS端末）で紙媒体の資料をテキストデータ化したい、読み上げたい

①Office Lensで撮影→Office Wordで読込／イマーシブリーダーで読込→テキストをコピー、読み上げ

②Adobe Scanで撮影→Adobe Acrobat Readerで読込→テキストをコピー、読み上げ

TIPS）読み上げにはiOSのアクセシビリティ機能や読み上げアプリ（iTextSpeaker等）も便利です。

イマーシブリーダー（学習ツール）

Microsoft社が開発したイマーシブリーダー（学習ツール）を用いると下記の各種設定が可能となり、「読み」のサポートになります。

※OneNote、Word、Outlookなどで使用可能

- ①文字サイズ／間隔／フォント／背景色
- ②品詞の色分け
- ③行フォーカス
- ④読み上げスピード等

閲覧エリア
を一行に

背景を青色に

名詞に配色

Cf) <https://www.onenote.com/learningtools>

